7 Noahide laws

「ノアの7つの法」とは、

全人類 (ノアの子ら) 共通の善悪の道として、ユダヤ民族の成立前に 既に創造主から示されていたとユダヤ教に伝えられているものです。 細目もありますが主要なものは以下の7つにまとめられます。

■ 傷 - 婦 - 月

世界の創造主であり善である唯一の神のもと、 世界に共通不変の真の善が存在することを 信じる。自分で"神"を決めるような 傲慢に陥らないようにする。 2

人を超える存在で、 命と世界を与えてくださった創造主は、 敬意と感謝の対象でこそあれ、 無為に口にしたり、 愚かに呪ったりする対象ではない。

3

殺人の禁止

神聖なる創造主の似姿に 作られた人間を害することは、 善への反逆である。 一人の命を奪うことは 世界を破壊することと 同然とみなされる。



性的不道徳の禁止

社会の基礎である 家族や結婚生活を尊重し、 姦淫・近親相姦などの 不道徳な性生活を営まない。

5

他人の権利や所有物を尊重する。 自分の受ける利益が他人の不公平な 犠牲によるものではないかに配慮する。

7 司法

司法制度の確立

正義を追及し、法と秩序を遵守する社会が 維持されるよう、法廷を設立・維持し、 適切な知識を持った判事が裁判を行う。 6 生きた動物の肉を 食べることの禁止

生かした状態の動物から 切り取った肉や抜き取った血を 食べてはいけない。 神の全ての被造物に慈悲の心を持ち、 動物に過度の苦痛を与えない。



「ノアの7つの法」とハバッドハウス・オブ・ジャパン

ハバッドハウスは、偉大なラビである"レッベ"・ メナハム・メンデル・シュネルソンによって広めら れた活動です。彼は、人類すべての子供たちに

は勉学だけでなく、人格形成の重要性に焦点を当てた教育が必要であることを、生涯にわたって説き、尽力しました。特に彼は子供たちの教育に関して、「ノアの7つの法」を順守することを説きました。

1978年、その功績を称えて、米国議会はユダヤ歴の彼の誕生日

を「Education and Sharing Day (教育と共有の日)として定めました。1991年の米国公文書では、「ノアの7つの法」は「文明社会の基礎であり、私たちの偉大な国家が設立された倫理的価値と原則」であると記されています。

私たちは、敬愛する彼の遺志を継ぐハバッドハウス・オブ・ジャパン を通して、ユダヤの教えと「ノアの7つの法」に則りながら慈善活動を 行っております。